

広島のワクワクを創造する



**広島電鉄**

# 2024年3月期 決算説明資料

2024年5月14日

広島電鉄株式会社

(コード番号：9033)

# 2024年3月期 連結経営成績



(百万円)

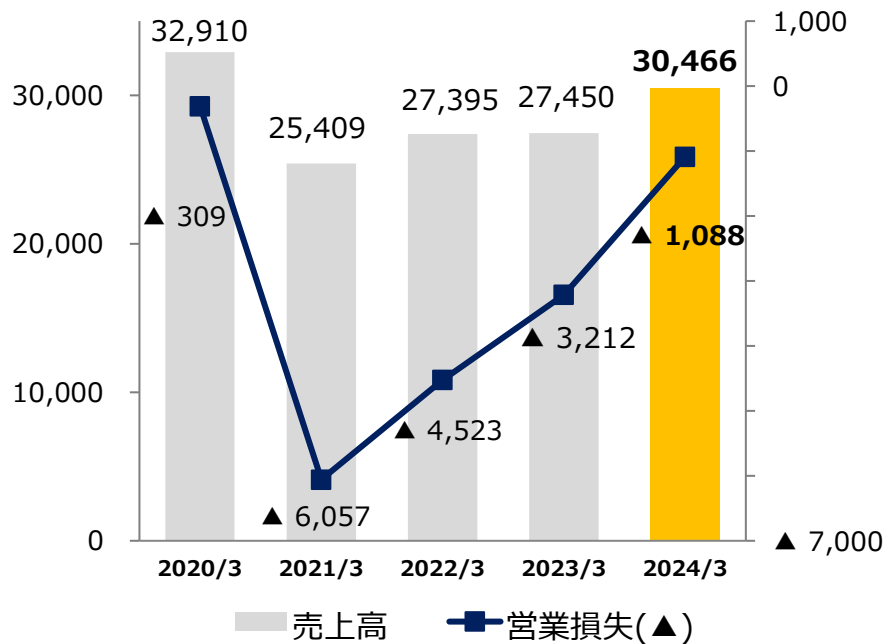
	2023年 3月期	2024年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	27,450	<b>30,466</b>	+3,015 (+11.0)	アフターコロナでの移動機会の増加や、「G7広島サミット2023」の開催に伴う国内外からの観光客の来広に加え、継続してきたまちづくりへの投資や様々な取り組みへの参画により移動需要を着実に取り込んだ結果、運輸業、流通業における収益が堅調に推移。 不動産業では、分譲マンション販売を順調に進めたことも寄与し、増収。 運輸業、不動産業での増収が大きく寄与し、連結全体では3年連続の増収。 前年度計上の「固定資産売却益」や「退職給付信託返還益」に伴う反動減、「減損損失」や「投資有価証券評価損」が増加したため、特別損益は縮小
営業利益	△3,212	<b>△1,088</b>	+2,123 (-)	
経常利益	△3,027	<b>△970</b>	+2,056 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	943	<b>656</b>	△287 (△30.4)	
1株当たり 当期純利益	31.07円	<b>21.61円</b>	△9.46円	

# 連結業績の推移

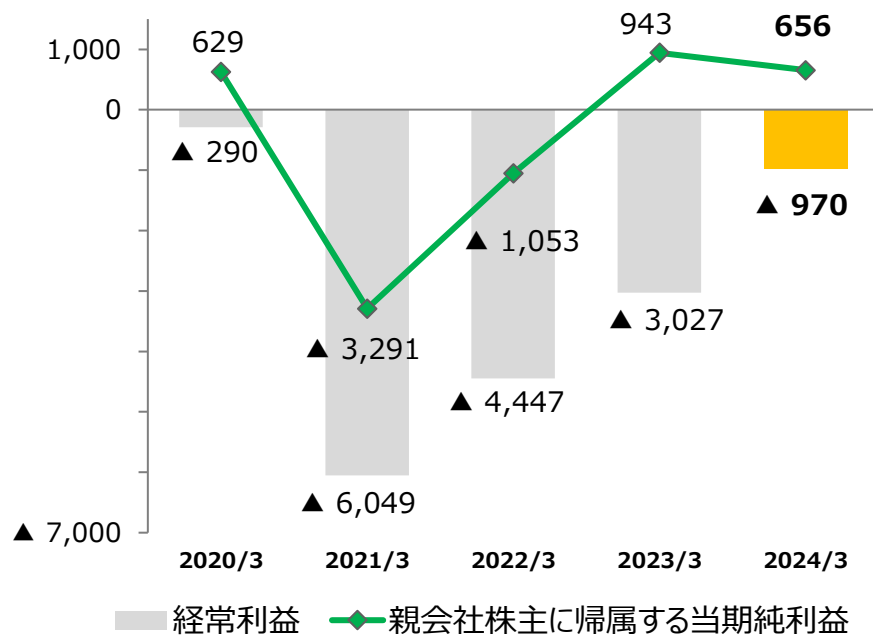


(百万円)

## 売上高・営業利益



## 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



# 連結貸借対照表(B/S)

(百万円)

		2023年 3月期	2024年 3月期	増減	主な増減要因
	流動資産	16,451	15,843	△607	受取手形、売掛金及び契約資産△1,827 販売土地及び建物+946
	固定資産	77,655	82,554	+4,899	建設仮勘定+2,020 投資有価証券+1,922
	資産合計	<b>94,106</b>	<b>98,398</b>	+4,291	
負債	流動負債	25,723	27,381	+1,657	短期借入金△1,108 未払金+2,004
	固定負債	29,162	29,410	+248	長期借入金△829 繰延税金負債+806 その他+347
	負債合計	<b>54,886</b>	<b>56,792</b>	+1,905	
純資産	株主資本	14,990	15,476	+485	利益剰余金の増加
	その他の包括利益累計額	23,369	25,171	+1,802	その他有価証券評価差額金の増加
	非支配株主持分	860	958	+97	
純資産合計	<b>39,220</b>	<b>41,605</b>	+2,385		
負債純資産合計	<b>94,106</b>	<b>98,398</b>	+4,291		

# 連結損益計算書 (P/L)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減	主な増減要因	(百万円)
営業収益	27,450	30,466	+3,015	運輸業、不動産業での増収	
運輸業等営業費及び売上原価	24,899	25,454	+554	人件費の増加、物価上昇に伴う経費の増加	
販売費及び一般管理費	5,762	6,100	+337		
営業損失(△)	△3,212	△1,088	+2,123		
営業外収益	444	367	△76		
営業外費用	258	249	△9		
経常損失(△)	△3,027	△970	+2,056		
特別利益	8,138	3,867	△4,270	固定資産売却益△616 運行補助金+602 受取補償金△2,883 退職給付信託返還益△483 新型コロナウイルス感染症に係る助成金△912	
特別損失	4,010	2,009	△2,001	固定資産圧縮損△2,387 減損損失+485 投資有価証券評価損+358	
税金等調整前当期純利益	<b>1,100</b>	<b>887</b>	△213		
法人税・住民税及び事業税	97	129	+31		
法人税等調整額	76	△2	△78		
当期純利益	927	760	△166		
非支配株主に帰属する当期純利益	△16	104	+120		
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>943</b>	<b>656</b>	△287		



# 連結キャッシュ・フロー(C/F)



(百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	449	<b>5,530</b>	+5,081	建設業における売上債権の回収、広島駅南口広場の再整備受託工事の未収金の回収が影響
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,150	△ <b>3,649</b>	△1,499	前年度には賃貸ビルの自社所有分売却による資金収入があった一方、今年度は設備投資に係る支出の増加が影響
財務活動によるキャッシュ・フロー	894	△ <b>2,363</b>	△3,257	CMS制度によるグループ資金の効率化を進めたこと等により、有利子負債を削減
現金及び現金同等物の増減額	△806	△ <b>481</b>	+325	
現金及び現金同等物の期首残高	5,194	<b>4,387</b>	△806	
現金及び現金同等物の期末残高	4,387	<b>3,906</b>	△481	

# セグメント別経営成績①運輸業

(百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	17,847	<b>20,021</b>	+2,173 (+12.2)	
セグメント利益	△3,971	△ <b>2,410</b>	+1,561 (-)	鉄軌道事業および自動車事業においては、アフターコロナにおける移動需要やインバウンドの回復、2022年11月に実施した広島市内中心部デルタ市街地内の路面電車・路線バス運賃を220円均一とするわかりやすい運賃体系の整備といった利便性向上策も寄与し、増収増益
運行補助金	2,137	<b>2,739</b>	+602 (+28.2)	海上運送業および索道業においては、アフターコロナでの旅行需要の高まりだけでなく、「G7広島サミット2023」の開催により宮島への注目度が高まり、国内外問わず多くの観光客が来島したことにより、増収増益
運行補助金を 含めた損益	△1,834	<b>328</b>	+2,163 (-)	

# セグメント別経営成績②流通業



(百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	980	<b>1,134</b>	+154 (+15.8)	山陽自動車道の宮島サービスエリアにおいて、原材料高騰に伴う商品値上げを実施したことや、レジャー客の動きが活発化したことに加え、2023年12月から開催されたイベント「ピクミンテラス」による集客効果もあり、増収増益
セグメント利益	△3	<b>18</b>	+22 (-)	



# セグメント別経営成績③不動産業

(百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	3,231	4,732	+1,501 (+46.5)	不動産賃貸業は微減となるも、不動産販売業においては、広島市中区の方譲マンション「ザ・タワーレジデンス富士見町」の全戸販売完了が寄与し、大幅な増収増益
セグメント利益	537	1,207	+670 (+124.7)	

# セグメント別経営成績④建設業



(百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	5,890	<b>4,822</b>	△1,068 (△18.1)	前年度の広島市大塚中央土地区画整理事業の工事の進行に伴う反動等により、減収減益
セグメント利益	181	<b>136</b>	△45 (△25.1)	

# セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業

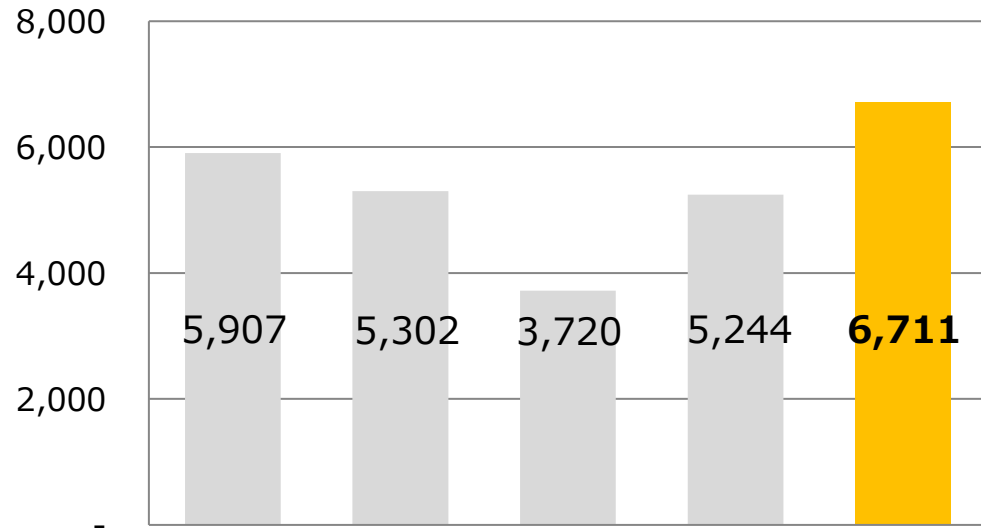
(百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	869	<b>854</b>	△14 (△1.7)	ゴルフ業においては、コロナ禍での密を避けるレジャーとして幅広い層にゴルフが人気を集めていたものの、レジャーの多様化やコロナ特需からの反動等に伴い、減収減益
セグメント利益	19	△ <b>38</b>	△58 (-)	ボウリング業においては、企業や子ども会等の団体の来場者数が順調に回復し、増収増益

# 設備投資の状況（連結）

## 設備投資額の推移

(百万円)



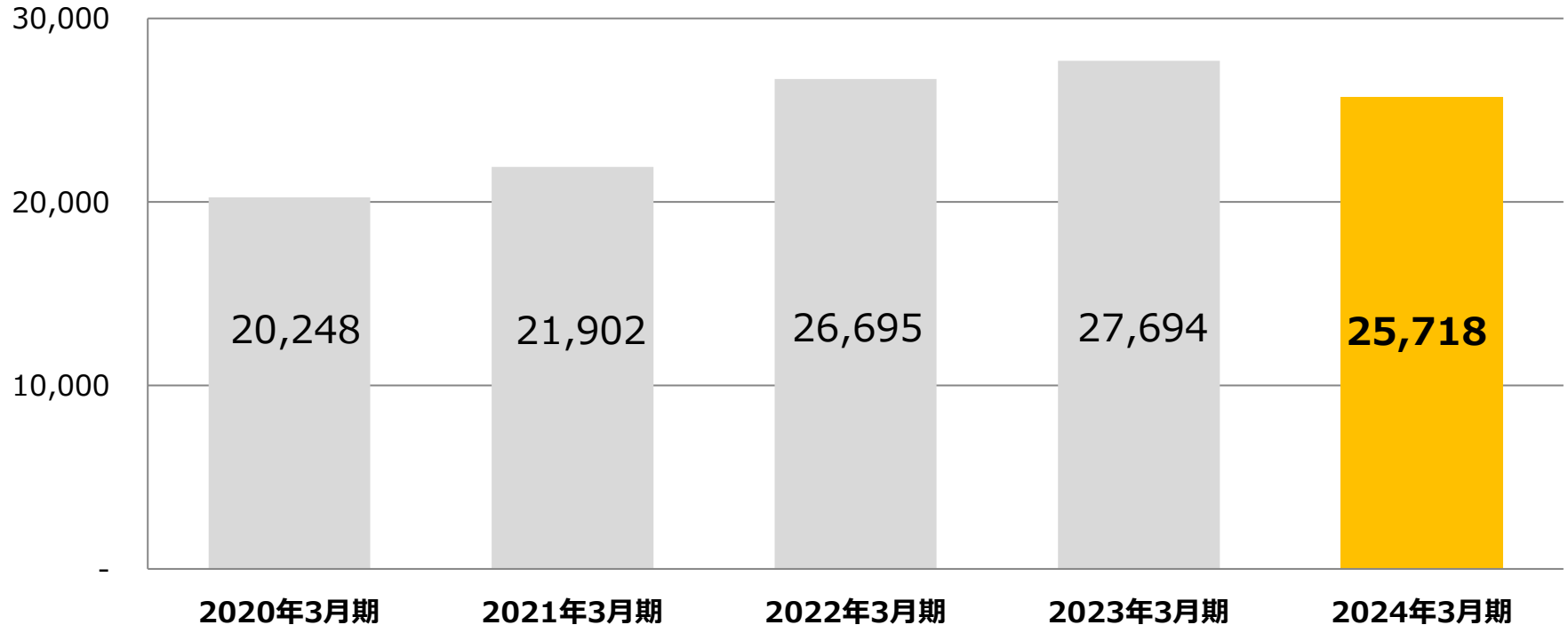
2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期

## 主な設備投資

広島駅前大橋ルート整備		<b>1,341</b> 百万円
新乗車券システム 「MOBIRY DAYS」開発		<b>1,170</b> 百万円
自動車事業用車両	27 両	<b>808</b> 百万円
5200形グリーンムーバー-APEX	1 編成	<b>520</b> 百万円
平野町マンションギャラリー用施設		<b>648</b> 百万円

# 有利子負債の状況（連結）

(百万円)



# 2024年度の主な設備投資予定（連結）

	導入数	金額
広島駅前大橋ルート整備		2,149 百万円
新乗車券システム「MOBIRY DAYS」開発		1,478 百万円
5200形グリーンムーバー-APEX	2 編成	1,040 百万円
自動車事業用車両	30 両	933 百万円
市内線運行管理装置		834 百万円



▲広島駅前大橋ルート整備事業（2024年3月現在）



▲新乗車券システム（MOBIRY DAYS）



# 2025年3月期 連結通期業績予想

(百万円)

	2024年 3月期実績	今回予想	増減 (%)	主な増減要因
売上高	30,466	<b>33,010</b>	+2,543 (+8.3)	運輸業では、新型コロナウイルス感染症の影響縮小や、2023年のG7広島サミット開催の影響といった、旅行需要等の回復傾向を想定。不動産業では、分譲マンション「アンヴェール己斐本町」の全戸引渡しを見込む。総じて増収となる見通し。
営業利益	△1,088	△ <b>1,360</b>	△271 (-)	運輸業においては、物価上昇に伴う燃料費や車両、設備に係る修繕費の増加や、人材確保を目的とした賃金改善に伴う人件費の増加、新乗車券システム「MOBIRY DAYS」の運用費の発生を想定。営業・経常損益は損失が増加する見通し。
経常利益	△970	△ <b>1,250</b>	△279 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	656	<b>840</b>	+183 (+28.0)	一方で、特別損益は、当年度に計上した固定資産の減損損失や投資有価証券評価損の反動により好転し、当期純利益は増益となる見通し。

# 連結業績予想の前提条件

## 収入の見通し(セグメント別)

セグメント	収 入 比 対 前 年	備 考
運 輸 業	+4%	国内外からの観光需要の増加を含む移動需要の回復傾向が続くことを見込み、増収を想定
流 通 業	+3%	宮島サービスエリアにおいて、引き続きレジャー客の動きの活発化やイベントによる集客効果を見込む
不 動 産 業	+10%	分譲マンション「アングェール己斐本町」の全戸引渡しを見込み、増収を想定
建 設 業	+31%	民間工事の受注増加を見込み、増収を想定
レジャー・サービス業	+10%	2024年4月より新たにインドアゴルフ事業の営業を開始することにより、増収を想定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542